

平成 2 9 年度

東京都市町村社会教育委員連絡協議会

交 流 大 会

●

社会教育委員研修会

子どももおとなも主体的に学び

参加するまちづくりをめざして

日時:平成 29 年 12 月 2 日(土)午後1時～

会場:たましんRISURUホール(立川市市民会館)

主催:東京都市町村社会教育委員連絡協議会

主催者挨拶

東京都市町村社会教育委員連絡協議会 会長 朝岡 幸彦

平成29年度東京都市町村社会教育委員連絡協議会交流大会・社会教育委員研修会の開催にあたり、一言ご挨拶申し上げます。

本日は、都市社連協各市町の社会教育委員並びに事務局の皆様方に多数ご参加をいただき、誠にありがとうございます。又、ご来賓の方々におかれましては、公私ともに大変お忙しい中ご臨席を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、本年度、東京都市町村社会教育委員連絡協議会では、「子どももおとなも主体的に学び参加するまちづくりをめざして」を統一テーマとして掲げ、ブロックごとに、この統一テーマに沿った活動と研修をお願いしてまいりました。それぞれのブロック研修会では、地域性を活かし、創意工夫を凝らした研修会を実施していただき、誠にありがとうございました。ブロック研修会の内容につきましては、本日、各ブロック幹事市から報告をしていただきますので、その成果を学び、共有したいと思います。

なお、第二部の社会教育委員研修会では、稲田 和浩 氏によるご講演をお願いしており、「江戸時代を生きた人々の文化的生活」についてお話しいたします。現在、「生涯学習」や「社会教育」という言葉は広く用いられておりますが、「学び」という概念そのものは、これらの言葉が生まれるずっと前から存在していたと思われます。江戸時代といえますと、町人文化という言葉にありますように、庶民による文化が確立された時代であります。その町人文化の中で、人々がどのような「学び」を行っていたのか、そして、それが現代にどのように繋がっているのか、本日は大変興味深いご講演になるものと、楽しみにしております。

いま、まさに社会教育行政をめぐる状況が、大きく変わろうとしております。文部科学省の平成30年度予算概算要求として、社会教育課の統合（廃止）を含む大きな機構改革がなされようとしています。首相官邸に人生100年時代構想会議が設置され、教育・子育てに関連する政策は産業政策・福祉政策・地域政策と一体化されながら大幅な見直しを求められています。社会教育行政も、総合教育政策局（現 生涯学習政策局）のもとで地域学習推進課（現 社会教育課及び青少年教育課）という枠組みの中で再編成される予定です。これから地域の社会教育は、学校教育や福祉との連携を深めながら展開していくことでしょう。私たちは、社会教育法制定68年目を経た今日、社会教育の歴史と実践の蓄積を踏まえて、新たな社会教育活動を模索する必要があります。

結びといたしまして、本日の交流大会・研修会の開催にあたり、ご尽力いただきました多くの関係者の皆様方に深く感謝申し上げるとともに、これからの当協議会の更なる充実、発展を願い、開会の挨拶とさせていただきます。

**平成29年度東京都市町村社会教育委員連絡協議会
交流大会・社会教育委員研修会実施概要**

1 趣 旨	多摩地区の社会教育委員が統一テーマのもと、相互に交流することにより、社会教育委員の連絡を密にし、併せて委員資質の向上を図るとともに、社会教育活動の振興に寄与する。																												
2 テ ー マ	子どももおとなも主体的に学び参加するまちづくりをめざして																												
3 日 時	平成29年12月 2日（土）13時～16時30分																												
4 会 場	たましんRISURUホール（立川市市民会館）																												
5 内 容	■第1部 交流大会（13：00～14：20） ○式 典 <table> <tr> <td>開 会</td><td>都市社連協副会長</td><td>宇佐見義尚（武蔵野市）</td></tr> <tr> <td>挨 拶</td><td>都市社連協会長</td><td>朝岡 幸彦（立川市）</td></tr> <tr> <td>来賓祝辞</td><td>東京都教育庁地域教育支援部主任</td><td>社会教育主事</td></tr> <tr> <td></td><td></td><td>梶野 光信 氏</td></tr> <tr> <td></td><td>立川市教育長</td><td>小町 邦彦 氏</td></tr> <tr> <td>司 会</td><td>立川市生涯学習推進審議会委員</td><td>宮本 直樹</td></tr> </table> ○各ブロック研修会実施報告（各10分） <table> <tr> <td>第1ブロック幹事</td><td>羽村市</td></tr> <tr> <td>第2ブロック幹事</td><td>昭島市</td></tr> <tr> <td>第3ブロック幹事</td><td>日野市</td></tr> <tr> <td>第4ブロック幹事</td><td>小平市</td></tr> <tr> <td>第5ブロック幹事</td><td>三鷹市</td></tr> </table> 質疑応答 ■第2部 社会教育委員研修会（14：30～16：30） ○講演「江戸の生涯学習～江戸っ子たちの文化的な生活～」 講師 稲田 和浩 氏 質疑応答 閉 会 都市社連協副会長 吉澤 良保（三鷹市）	開 会	都市社連協副会長	宇佐見義尚（武蔵野市）	挨 拶	都市社連協会長	朝岡 幸彦（立川市）	来賓祝辞	東京都教育庁地域教育支援部主任	社会教育主事			梶野 光信 氏		立川市教育長	小町 邦彦 氏	司 会	立川市生涯学習推進審議会委員	宮本 直樹	第1ブロック幹事	羽村市	第2ブロック幹事	昭島市	第3ブロック幹事	日野市	第4ブロック幹事	小平市	第5ブロック幹事	三鷹市
開 会	都市社連協副会長	宇佐見義尚（武蔵野市）																											
挨 拶	都市社連協会長	朝岡 幸彦（立川市）																											
来賓祝辞	東京都教育庁地域教育支援部主任	社会教育主事																											
		梶野 光信 氏																											
	立川市教育長	小町 邦彦 氏																											
司 会	立川市生涯学習推進審議会委員	宮本 直樹																											
第1ブロック幹事	羽村市																												
第2ブロック幹事	昭島市																												
第3ブロック幹事	日野市																												
第4ブロック幹事	小平市																												
第5ブロック幹事	三鷹市																												
6 参加対象	多摩地区社会教育委員及び関係職員等																												

第1ブロック研修会実施報告

報告者：羽村市社会教育委員の会議 議長 川津 紘順

開始日時	平成29年10月21日（土） 14時00分～16時00分		
場 所	羽村市役所 4階 大会議室A		
参加者数	48名	幹事市	羽村市

テ ー マ	地域や学校が連携した、 子どももおとなも参加するイベントづくり
形 式（方法）	・活動事例報告 ・情報交換会

【概要】

1. 開会

開 会 挨 拶：羽村市社会教育委員の会議 議長 川津 紘順

主催者挨拶：東京都市町村社会教育委員連絡協議会 副会長 宇佐見 義尚 氏

開催市挨拶：羽村市教育委員会生涯学習部 部長 伊藤 文隆

2. 活動事例報告

テーマ

「地域や学校が連携した、子どももおとなも参加するイベントづくり

～羽村市における実践～」

報告事例 「青少年健全育成の日事業 子どもフェスティバル」

報 告 者 石川 千寿（羽村市社会教育委員）

浦野 雅文（羽村市社会教育委員）

3. 情報交換会

テーマ

「子どもたちの地域活動への参加促進について」

「子どもたちの地域活動を支える団体の後継者確保や人材育成について」

4. 閉会

閉 会 挨 拶：瑞穂町社会教育委員の会議 議長 久保田 敢司 氏

第2ブロック研修会実施報告

報告者：昭島市社会教育委員会 議長 長瀬 高志

開始日時	平成29年10月21日(土) 14時00分～16時00分		
場 所	昭島市役所7階ロビー		
参加者数	39名	幹事市	昭島市

テ ー マ	豊かな地域に必要なこと～地域のつながりをめざして～
形 式 (方 法)	少人数グループによる2種類のワークショップを実施

①趣旨・ねらい

まず、SDGs(持続可能な開発目標)について学び、次に、自分たちは、身近な地域課題にどのように関わっているのかについて、ワークショップを通して分析し、「地域がつながる」「豊かな生活」とはどういうことなのか、そのために自分たちは何ができるのかについて、確かめ合い、それぞれの地域で活かしていくことをめざす。

②講師

近藤牧子 氏

早稲田大学、立正大学、聖心女子大学等非常勤講師。

早稲田大学ジェンダー研究所招聘研究員。

専門は教育学(社会教育)。

特に開発や貧困問題を中心とした開発教育の実践的研究をしており、関連する教育NGO活動に従事。また、地域で女性の学びを支える活動に従事。

国分寺市光公民館「幼い子のいる母親のための講座」2011-2014年度講師

学校の教員や、市民活動の実践者向けの教材づくり、研修なども行っている。

③ワークショップその1 「『豊かな社会』にとって大切なこと」

生活コストや所持品、ライフスタイル、制度、文化、労働、環境など「経済」「政治・意思決定」「ネットワーク」「健康・安全・安心」「時間・空間・生活」「教育」「文化」「社会保障」を網羅する25の項目から、参加者が「私が」大切だと考える項目を3つ選び、何を軸(基準)に選んだのかを3～4人のグループで共有し、各人の考えが異なることを認識した。

そして、グループが考える「豊かな社会」に必要な項目を6つ選び、それはどんな地域なのかを発表して全体で共有し、グループにより考えがことなることを認識した。

グループで話し合うことで、人によって考え方に違いがあること、さらに、グループによっても違いがあることが確認できた。

④ワークショップその2 「参加のはしご」

環境心理学者ロジャー・ハートが作った、子どもの「参加」についての8段階の「はしご」、「参加のはしご」を使って、震災で被災したQ市、Q市の住民グループ、Q市を支援するNGOの関りを8通り想定し、それぞれの関わり方が「参加のはしご」のどの段階にあるかをグループで考えた。

そして、各自が関わっている活動に当てはめ、関係者がどのように参加しているかを考えた。

自身が関わっている活動などにおける「参加」のあり方を確認し、今後、どのような参加のあり方を目指すのかを考える機会となった。

***SDGs（持続可能な開発目標）について**

2015年9月25日、国連で我々の世界を変革する持続可能な開発のための2030アジェンダが採択され、人間、地球及び繁栄のための行動計画として、宣言および目標を掲げました。この目標が、17の目標と169のターゲットからなる「持続可能な開発目標（SDGs）」です。

国連広報センターのホームページ

http://www.unic.or.jp/activities/economic_social_development/sustainable_development/2030agenda/

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

世界を変えるための17の目標



***研修で使用した教材について**

「豊かさと開発」 2016年8月1日 特定非営利活動法人 開発教育協会（DEAR）発行
 開発教育協会のホームページ <http://www.dear.or.jp/>



第3ブロック研修会実施報告

報告者：日野市社会教育委員の会議 議長 大杉 宏光

開始日時	平成29年11月18日（土） 13時30分～16時30分		
場 所	日野市市民の森ふれあいホール 2階 コミュニティルーム 日野市仲田の森蚕糸公園内 桑ハウス		
参加者数	30名	幹事市	日野市

テ ー マ	「未知の分野を学ぶとともに、 地域の過去を知ることにより、 広く社会教育の推進に資する」
形 式（方法）	講演会・見学会

【概要】

- 開会（13：30～13：45）
開会挨拶 山口 徹雄 （日野市社会教育委員の会議副議長）
主催者挨拶 吉澤 良保 氏（東京都市町村社会教育委員連絡協議会副会長）
開催市挨拶 金子 龍一 （日野市教育委員会生涯学習担当参事）
- 【第1部】講演会（13：45～14：50）
演題「星空散歩～ヒマラヤ8,000m 峰で眺めた満天の星～」
講師 村山 孝一 氏（小金井市公民館貫井北分館長）
- 【第2部】見学会（15：00～16：20）
国登録有形文化財 旧農林省蚕糸試験場日野桑園第一蚕室
通称「桑ハウス」について
日野市生涯学習課中山弘樹学芸員による映像を交えた説明及び桑ハウスの見学
- 閉会（16：20～16：30）
まとめ 大杉 宏光 （日野市社会教育委員の会議議長）
閉会挨拶 三浦 眞一 氏（八王子市生涯学習審議会会長）

第4ブロック研修会実施報告

報告者：小平市社会教育委員の会議 副議長 生尾 光

開始日時	平成29年11月25日（土） 14時～16時		
場 所	小平市 なかまちテラス（仲町公民館・図書館）ホール		
参加者数	40名	幹事市	小平市

テ ー マ	子どももおとなも主体的に学び参加するまちづくりをめざして （統一テーマに同じ）
形 式（方 法）	・ 施設の取組紹介、見学 ・ 事例発表 ・ 意見交換、情報交換
【概要】 1. 開会（14:00～14:15） 開会のことば：小平市社会教育委員の会議 議長 主催者あいさつ：東京都市町村社会教育委員連絡協議会 会長 開催市あいさつ：小平市教育委員会 地域学習担当部長 2. 研修会 （1）「なかまちテラス」施設の取組紹介、館内見学、質疑（14:15～14:55） 説明：仲町図書館長 見学案内：仲町図書館長・仲町公民館長 （2）事例発表（15:05～15:40） ①小平市「公民館事業企画委員会に関わり見えてきたまちづくり」 発表：小平市社会教育委員の会議 議長 ②清瀬市「異世代交流の居場所づくりをめざして お茶の間 きよせ」 発表：元 清瀬市社会教育委員 （3）意見交換・情報交換（事例発表の質疑を含む）（15:40～16:00） 東村山市・東久留米市・西東京市の取組紹介（情報交換） 3. 閉会 まとめ、閉会のことば：小平市社会教育委員の会議 副議長	

第5ブロック研修会実施報告

報告者：三鷹市社会教育委員会 議長 吉澤 良保

開始日時	平成29年10月28日（土） 14時00分～17時00分		
場 所	三鷹中央防災公園・元気創造プラザ 生涯学習センター		
参加者数	50名	幹事市	三鷹市

テーマ	「市町村における生涯学習について」
形式（方法）	講演会・施設見学

【概要】

第5ブロックの研修会は、今年度の4月にオープンした複合施設「三鷹中央防災公園・元気創造プラザ」の中にある生涯学習センターにて開催した。2部構成で、第1部は講演会、第2部は講演会場でもある「三鷹中央防災公園・元気創造プラザ」全体の施設見学を行った。台風の影響で天候の定まらない中ではあったが、非常に多くの方にご参加いただいた。

第1部の講演会の講師には、三鷹市生涯学習審議会・三鷹市社会教育委員会 議長であり、日本女子大学 人間社会学部 教育学科の教授でいらっしゃる田中雅文会長より「市町村における生涯学習の展望」というテーマのもとにお話をいただいた。パワーポイントによる写真等を交えた講演会で、田中会長の実体験等も含めてご講演をいただいた。

第2部は、地下2階の総合スポーツセンターから5階の総合防災センターまでの複合施設について、施設見学を行った。初めに市職員より施設の概要等について説明があり、その後2グループに分かれ、市職員の説明を聞きながら地下2階から1階のSUBARU総合スポーツセンター、1階の子ども発達支援センター、2階の総合保健センター、3階の福祉センター、4・5階の生涯学習センター、5階の総合防災センターの見学を行った。懇親会は、市民センター敷地内にある公会堂 さんさん館の中の展示室兼会議室を使い、ケータリングにて開催した。当日の研修会出席者は50人、懇親会出席者は38人だった。

